

井田 亜彩実 Asami IDA

うれしくてスキップしたり、綺麗なモノを見て触れてみたくて手を差し伸べたり。身体表現のカケラ達は日常のあちこちに散りばめられています。そのカケラを紡いで、まだ知らない自分に出会う旅を一緒にしましょう！



Photo: hitoha nasu



Photo: 菅原康太



東広島芸術文化ホールくらわワークショップ

プロフィール

ダンスカンパニー「Arche」(アルケー) 主宰。筑波大、筑波大学院舞踊コースにて舞踊学を学び、教員免許を取得。文化庁新進芸術家海外留学制度によりイスラエルへ留学。2014年～2018年、「MARIAKONG」(イスラエル) 所属。現在は長野、東京に拠点を置き、「人との繋がり」をテーマに、全国各地でW.S講師やレジデンスを行い、作品創作・発表を行う。また、信州大学非常勤講師や劇団への振付、日本発のプロダンスリーグ第一生命D.LEAGUE22-23SEASONに「LIFULL ALT-RHYTHM」へのディレクション、地方市民会館のオープニング企画を担当するなど多角的に活動。横浜ダンスコレクション・コンペティションI 奨励賞(2021)、ベラルーシ国際コンペティション第1位(2012) など受賞。

所属カンパニー Arche
ホームページ <https://genjoujihataika.wixsite.com/asamiida>
連絡先(担当) Arche・井田亜彩実
E-mail asamiida0629@gmail.com
アーティスト在驻地 長野県長野市、東京都
アーティスト出身地 富山県富山市



I 活動歴 I

〈2014年～2018年〉「MARIAKONG」所属(イスラエル)
〈2014年～2018年〉「BACKSTAGE」(共同振付・出演) @barby
〈2015年～2018年〉「Micasa Sucasa」(プロデュース・出演) (イスラエル国内5都市)
〈2015年〉「Moth-蝶-」(振付・演出・出演) @Suzanne Delall Dance Center (イスラエル)
〈2017年〉Jerusalem International Dance Week「Moth-蝶-」(振付・演出・出演) @Machol Shalem Dance House
〈2018年〉QUINAWNA DE DANCA DE ALMADA「microscopic」(振付・演出・出演) @Teatro Municipal Joaquim Benite (ポルトガル)
〈2019年〉長久手市文化の家主催事業「ARTopia!」(企画・演出・出演) @長久手市文化の家風のホール
〈2020年～2022年〉Arche主催公演 @長野市芸術館リサイタルホール、アクトスペース
〈2022年11月〉Arche主催公演「パンタレイ」@BUoY
〈2023年7月〉Arche主催公演「52ヘルツのうた」@神奈川青少年センタースタジオHIKARI
〈2024年～2025年〉D'リーグ「LIFULL ALT-RHYTHM 作品「Psyche」"Dear"」(SPディレクター)
〈2024年7月〉PKT野方区民ホールダンス公演 主催: PKT

〈2024年9月〉PKT青ヶ島小中学校運動会振付 主催: PKT
〈2024年7月～11月〉学習発表会振付(対象:小学3年生・小学4年生) 主催: 芸術家と子供たち
〈2024年11月〉Arche主催公演「ホームクルスの地図」@池袋シアターグリーンBOX in BOX THEATER
〈2025年2月〉中野市主催ソラホールオープニング記念「ソラ市民劇場 ファースト祝賀祭～ふるさと2.0～」(振付・演出・出演)
〈2025年3月〉横浜国立大学モダンダンス部委託作品(振付)

II 受賞歴 II

〈2011年〉NEXTREAM21優秀賞(第1位)、Dance Creation Award 創作の部第2位受賞
〈2012年〉International Competition of Modern Choreography in Vitebsk 2012. 第1位受賞
〈2013年〉芸創CONNECT vol.6審査員特別賞受賞、ダンスがみたい!新人シリーズ11オーディエンス賞受賞
〈2017年〉Jerusalem international dance week competition 第5位受賞
〈2021年〉横浜ダンスコレクション2021Competition I 奨励賞受賞

III ワークショップ歴 III

〈2019年〉「茨城県小学校ダンスワークショップ」(対象:小学生) 主催: Dance Association Seeds
〈2021年〉「神奈川県高校体育連盟ダンスワークショップ」(対象:高校生) 主催: 神奈川県高校体育連盟
〈2021年～〉「劇空間夢幻工房MAプログラム」(対象:小学生～一般) 主催: 劇空間夢幻工房
〈2022年〉「特別支援学級ダンスワークショップ」(対象:小学生) 主催: 芸術家と子供たち
〈2023年〉ソラホール・プレオープン企画「どこでもダンス」(対象:一般) 主催: 信州なかの文化芸術実行委員会、公益社団法人全国公立文化施設協会、中野市
〈2023年1月～2024年12月〉東京・神奈川 アウトリーチ(対象:小学生) 主催: 芸術家と子供たち・STスポット
〈2024年12月〉「特別支援学級アウトリーチ」(対象:小学1年～6年生) 主催: 芸術家と子供たち

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①『なりきりダンス王国』
リズムや擬音語、オノマトペ、模倣から様々な動きをみつけ、「動物園から動物たちが逃げ出したら?」などキャッチーな「ストーリー」をみんなで考え作品をつくり、体いっぱい動き回り、想像力を養い、楽しい表現を伝えます。(幼稚園児～小学生対象)

②『他者との違いに触れるコミュニケーションダンス』
「体ほくし」から始まり、互いの動きの模倣や、相手がいるからできる動きをペアワーク中心にゲーム要素を取り入れ恥ずかしさを取り払い、互いの違いを感じながら一緒に動く楽しさを提案します。見せ合いを積極的に行うことで相手の良いところ、それぞれの個性に触れる機会を提案します。(中・高校生対象)

③『即実践!ダンスの可能性に触れる』
現代的なリズムのダンス・伝統的なダンス・表現ダ

ンスの3本柱に触れ、ダンスの魅力と共に現場で実践できる内容を提案していきます。体を使って他者と動くことで、コミュニケーション能力や自己実現の芽を育て、思考力・想像力を育む事を狙いとしています。(小・中・高校教員対象)

公募ワークショップ

④創造の種をみつけよう!
「もし言葉を使わずに違う国の人と挨拶するとしたら?」「オノマトペだけでお友達を遊びに誘うとしたら?」「ジャングル探検隊になったら?」など様々なテーマを投げかけ、身体表現を使って動きます。想像力を使って心と体を解放し、どんな事でもダンスになる!事を感じてもらい、チャレンジする心を育てます。(小学生対象)

⑤想像が育むダンス!
「リズムダンスと表現ダンス」の2本軸で行います。

リズムをとったり、相手のつくるリズムに合わせて動いてみるなどシンプルな導入で心と体をほぐします。身近なテーマを用いて作品創作します。お互いの作品のテーマの当て合いを行い、他のグループを鑑賞する目も養います。(中学生対象)

⑥細胞レベルでつながるダンス!
自分の身体をパーツで捉えず細胞レベルで認識することにより表現の可能性に気づくと共に、即興を軸に相手の動きに対して反射的かつ連動的に反応したり、相手の動きの質感を共有することにより、自分や他者を愛しいと思える時間にしたいです。(一般対象)

▶アシスタント: 応相談(できれば1名)
▶参加適正人数: 20～30名程度(要望に合わせます)
▶1日の実施可能回数・時間: 2コマ ※1コマ90分～120分
▶必要機材: iPhone、Mac用の音響プレーヤー

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

⑦日常のカケラを踊ってみせて?
日常の物たちを使ってダンスにしていきます。傘は集まると車に変身、調理道具だって楽器に早変わり、お部屋のカーテンも舞台の幕を開ける舞台幕に変身するかもしれません。日常とダンスをつなげ、ダンスが身近なものなのだという親しみを持って作品を創っていきます。市民の皆様からのアイデアもふんだんに盛り込み、これなんだ?というように観る人も一緒に想像しながらわくわく楽しめる市民参加型公演です。

共に、ジャンルが異なるアーティストも公募で募ります。これは、観客層も広がって新たな出会いが生まれることを期待しました。可能であれば劇場全体を使用して、観客が回遊できるように行いたいです。劇場内をパフォーマーに導かれて旅をし、最終的には踊る・観るという線引きをなくすことを試みるアートのお祭りです。

▶上演時間: 60分
▶出演者数: 3名(登録アーティスト+共演者2名)
▶市民参加公演の形態: (1)市民参加公演(クリエイションワークショップ参加者との協働作品)

(2)市民とアーティスト参加公演(アーティストはジャンル問わず、美術家などもOK・クリエイションワークショップ参加者との協働作品)

▶クリエイションワークショップの参加(出演)人数・回数: 10～15名程度・5～10回程度
▶同行スタッフ: 演出助手1名
▶現地スタッフ: 照明仕込み1名、音響1名、できれば舞台監督1名
▶上演環境:
(1)会場の広さ・形状: 野外を含めホール環境に対応。
(2)リノリウム: ホール環境に対応
(3)必要機材、舞台セット: 創作過程で相談

この事業で可能な公演作品

⑧『Species-種-』
私たち人間は遠い昔、自然の一部から離れ、歩き始めた。確固たる地位を確立した裏で、私たちは孤独を背負い生きる本能を負うこととなる。さらにテクノロジー、メディアが発展していき個々のつながりが希薄になる世の中。私たちが孤独から解放される術は...未知なる未来に思いを馳せ、人間の「種」としての一つの可能性を提案したいと思う。この作品は4人のダンサーのつながりに焦点を当て、一体感が現象として生み出される様にチャレンジした作品。
▶上演時間: 20分～40分(伸縮可能) ▶出演者数: 3名(登録アーティスト1名+共演者2名) ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 照明仕込み1名、音響1名 ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状: 6m×6m以上(舞台以外のスペースでも上演可能)

(2)床・リノリウムある場合黒希望(3)必要機材、舞台セット: S.Sライト6台(可能であれば)

⑨『Salt with Classic』
人生を記号的に、儚さをストーリー仕立てで展開します。ストーリーを想像しながら観ていただく作品で、子どもから大人まで観られる作品になります。
▶上演時間: 30分 ▶出演者数: 2名 ▶同行スタッフ: 演出助手・舞台監督・音響・制作 ▶現地スタッフ: 舞台監督1名・音響1名・照明1名 ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状: 5m×5m以上であれば対応可能です。(2)床: 理想は黒以外のリノリウム、無くても可。(3)必要機材、舞台セット: 音響機材、照明機材 ▶その他: 衣装が顔まで覆われた全身黒タイツに服を着た一見怪しげな雰囲気の人2人です。リノが黒以外だと映える作品です。

⑩『Granatus』
2020年、感染症が拡大していき、人とのコミュニケーションが取りづらくなっていく世の中で、何が自分のできるだろうと自問自答しながら六畳一間で創ったソロ作品。「Granatus」は宝石のガーネットの由来と言われ、ラテン語で「種子」を意味し、困難に直面しても、前向きに乗り越えていけるよう導いてくれるといわれています。届いて欲しい想いがある、一緒にまた笑って会える日が来るように、そんな願いを込めて創りました。
音楽: 笠松泰洋
▶上演時間: 20分 ▶出演者数: 1人 可能であればピアニスト1人 ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 音響1名 ▶会場の広さ: リノリウム: 共にこだわりなく、ピアニストが入る場合は、ピアノがおける環境 ▶必要機材: ピアノ ▶その他: ①、②どちらとも同時上演可

この事業で挑戦してみたいこと

●「人との繋がり」についてリサーチするワークショップや、作品内容の可能性を思考したいです。

●老若男女、ハンディキャップに関わらず、一緒にひとつの作品を創りたいです。それぞれ持つエネルギーが創造の可能性を感じます!

●地域で活動するアーティストとのコラボレーションを行いたいです。さらにアーティストだけでなく、特産物や伝統品など、その土地を盛り上げている方々と繋がり、市民参加型公演や、ワークショップに盛り込みたいです。派遣アーティストや市民アーティスト、劇場、全員が連携し、横の

繋がりを作る事でアートの入り口が広がり、当事者が増え、さらなる地域に寄り添ったアートの可能性が提案していけるのではと考えます。アーティストが滞在した後には種が芽を出し、それぞれの場で育つ環境づくりを共に行いたいです。